

特別企画：国内主要 106 行の預金・貸出金等実態調査（2023 年 9 月中間期）

## 設備投資の需要増で貸出金は 19 兆円増

～地域別では「中国」が預金・貸出金ともに増加率トップ～

### はじめに

銀行業界は、長期化している低金利の状況下、これまでの預貸中心のビジネスモデルから新たなビジネスモデルの構築など収益源の多角化を急いでいる。またネット銀行の台頭や、地方銀行同士の再編による地盤固めの強化など業界としての動きも激しい。

帝国データバンクは、国内主要 106 行（大手銀行 7 行、地方銀行 62 行、第二地方銀行 37 行）の 2023 年 9 月末および 2022 年 9 月末の預金、貸出金の残高および 2023 年 9 月中間期（2023 年 4 月～2023 年 9 月）、2022 年 9 月中間期（2022 年 4 月～2022 年 9 月）の預金利息（支出）、貸出金利息（収入）の推移について調査・分析した。

- ※ 大手銀行 7 行＝三菱 UFJ、みずほ、三井住友、りそな、埼玉りそな、SBI 新生、あおぞら
- ※ 各数値は各行の決算短信等（単体ベース）に記載されている数値（単位：百万円）および一部ヒアリング数値を採用
- ※ 預金利息、貸出金利息および利ざやは、地方銀行の青森銀行、みちのく銀行が非開示のため 60 行分で計算
- ※ 前回調査は 2021 年 12 月

### 調査結果

- 2023 年 9 月末の国内主要 106 行の預金は 950 兆 3819 億 8000 万円となり、2022 年 9 月末（923 兆 4977 億 8100 万円）と比べ、26 兆 8841 億 9900 万円増加（前年同期比 2.9%増）した。大手銀行（同 3.6%増）、地方銀行（同 2.1%増）、第二地方銀行（同 1.2%増）の 3 業態すべてで増加
- 2023 年 9 月末の国内主要 106 行の貸出金は 641 兆 8236 億 8400 万円となり、2022 年 9 月末（622 兆 8036 億 5500 万円）と比べ、19 兆 200 億 2900 万円増加（前年同期比 3.1%増）した。大手銀行（同 2.5%増）、地方銀行（同 3.9%増）、第二地方銀行（同 2.7%増）の 3 業態すべてで増加
- 2023 年 9 月中間期の国内主要 104 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）＝本業利ざや＞は 3 兆 5502 億 3800 万円となり、2022 年 9 月中間期（3 兆 462 億円）と比べ、5040 億 3800 万円（16.5%増）の増加
- 地方銀行、第二地方銀行の計 99 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、8 地域で預金・貸出金ともに増加。預金の増加率トップは「中国」（3.4%増）、貸出金の増加率トップも「中国」（4.9%増）

## 1. 預金動向 ～83 行で増加、26 兆 8841 億円増～

2023 年 9 月末の国内主要 106 行の預金は、950 兆 3819 億 8000 万円となった。前年同期 (923 兆 4977 億 8100 万円) から 26 兆 8841 億 9900 万円 (前年同期比 2.9%) 増加した。大手銀行 (同 3.6%増)、地方銀行 (同 2.1%増)、第二地方銀行 (同 1.2%増) の 3 業態すべてで増加した。また、コロナ前 (2019 年 9 月末) から比較すると、2019 年 9 月末 (771 兆 8480 億 5700 万円) から 178 兆 5339 億 2300 万円増 (同 23.1%増) と増加基調で推移した。

業態別に増減の内訳をみると、大手銀行 (増加 7 行、減少 0 行)、地方銀行 (増加 57 行、減少 5 行)、第二地方銀行 (増加 19 行、減少 18 行) となり、106 行中 83 行 (構成比 78.3%) で増加した。

また、非開示となった地方銀行 2 行を除く 104 行が 2023 年 9 月中間期 (半年間) に預金者へ支払った預金利息は、2 兆 3760 億 7000 万円となり、2022 年 9 月中間期 (6279 億 1300 万円) と比べ、1 兆 7481 億 5700 万円 (前年同期比 278.4%) 増加した。大手銀行 (同 286.8%増)、地方銀行 (同 164.4%増)、第二地方銀行 (同 47.3%増) の 3 業態すべてで増加した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加 7 行、減少 0 行)、地方銀行 (増加 39 行、減少 21 行)、第二地方銀行 (増加 17 行、減少 20 行) となり、104 行中 63 行 (構成比 60.6%) で増加した。

		2022年9月末	2023年9月末	2022年9月末比 増減額・増減比(%)	
主要106行	預金	923,497,781	950,381,980	26,884,199	2.9
	預金利息	627,913	2,376,070	1,748,157	278.4
大手銀行 (7行)	預金	533,475,060	552,743,645	19,268,585	3.6
	預金利息	590,703	2,285,002	1,694,299	286.8
地方銀行 (62行)※	預金	319,396,160	326,155,616	6,759,456	2.1
	預金利息	30,972	81,879	50,907	164.4
第二地方 銀行 (37行)	預金	70,626,561	71,482,719	856,158	1.2
	預金利息	6,238	9,189	2,951	47.3

※地方銀行の預金利息は青森銀行、みちのく銀行の2行が非開示のため60行分で計算

単位:百万円

### 預金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100.0%
地方銀行	57	91.9%	5	8.1%	62	100.0%
第二地方銀行	19	51.4%	18	48.6%	37	100.0%
合計	83	78.3%	23	21.7%	106	100.0%

### 預金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100.0%
地方銀行	39	65.0%	21	35.0%	60	100.0%
第二地方銀行	17	45.9%	20	54.1%	37	100.0%
合計	63	60.6%	41	39.4%	104	100.0%

※地方銀行の預金利息は60行分で計算

## 2. 貸出金動向 ～87 行で増加、19 兆 200 億円増～

2023 年 9 月末の国内主要 106 行の**貸出金**は、641 兆 8236 億 8400 万円となり、2022 年 9 月末 (622 兆 8036 億 5500 万円) から 19 兆 200 億 2900 万円 (前年同期比 3.1%) 増加した。大手銀行 (同 2.5%増)、地方銀行 (同 3.9%増)、第二地方銀行 (同 2.7%増) の 3 業態すべてで増加した。また、コロナ前 (2019 年 9 月末) と比較すると、2019 年 9 月末 (539 兆 6799 億 2100 万円) から 102 兆 1437 億 6300 万円増 (同 18.9%増) と増加基調で推移した。

業態別の増減の内訳をみると、大手銀行 (増加 7 行、減少 0 行)、地方銀行 (増加 53 行、減少 9 行)、第二地方銀行 (増加 27 行、減少 10 行) となり、106 行中 87 行 (構成比 82.1%) で増加した。

また、非開示となった地方銀行 2 行を除く 104 行が 2023 年 9 月中間期 (半年間) に融資先から受け取った**貸出金利息**は、5 兆 9263 億 800 万円となり、2022 年 9 月中間期 (3 兆 6741 億 1300 万円) と比べ、2 兆 2521 億 9500 万円 (前年同期比 61.3%) 増加した。大手銀行 (同 92.8%増)、地方銀行 (同 13.7%増)、第二地方銀行 (同 4.0%増) すべてで増加した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加 6 行、減少 1 行)、地方銀行 (増加 57 行、減少 3 行)、第二地方銀行 (増加 25 行、減少 12 行) となり、104 行中 88 行 (構成比 84.6%) で増加となった。

		2022年9月末	2023年9月末	2022年9月末比 増減額・増減比(%)		
主要106行	貸出金	622,803,655	641,823,684	19,020,029	3.1	
	貸出金利息	3,674,113	5,926,308	2,252,195	61.3	
	大手銀行 (7行)	貸出金	323,895,575	331,922,976	8,027,401	2.5
		貸出金利息	2,247,910	4,333,358	2,085,448	92.8
	地方銀行 (62行)*	貸出金	243,642,441	253,153,353	9,510,912	3.9
		貸出金利息	1,137,169	1,292,460	155,291	13.7
	第二地方 銀行 (37行)	貸出金	55,265,639	56,747,355	1,481,716	2.7
		貸出金利息	289,034	300,490	11,456	4.0

※地方銀行の貸出金利息は青森銀行、みちのく銀行の2行が非開示のため60行分で計算

単位:百万円

### 貸出金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100.0%
地方銀行	53	85.5%	9	14.5%	62	100.0%
第二地方銀行	27	73.0%	10	27.0%	37	100.0%
合計	87	82.1%	19	17.9%	106	100.0%

### 貸出金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	6	85.7%	1	14.3%	7	100.0%
地方銀行	57	95.0%	3	5.0%	60	100.0%
第二地方銀行	25	67.6%	12	32.4%	37	100.0%
合計	88	84.6%	16	15.4%	104	100.0%

※地方銀行の貸出金利息は60行分で計算

### 3. 利ざや動向 ～104 行中 86 行で増加～

2023 年 9 月中間期の国内主要 104 行（非開示となった地方銀行 2 行を除く）の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）＝**本業利ざや**>は、3 兆 5502 億 3800 万円となり、2022 年 9 月中間期（3 兆 462 億円）と比べ、5040 億 3800 万円の増加（前年同期比 16.5%増）となった。大手銀行（同 23.6%増）、地方銀行（同 9.4%増）、第二地方銀行（同 2.8%増）の 3 業態すべてで増加した。また、コロナ前の 2019 年 9 月中間期と比較すると、2019 年 9 月中間期（2 兆 8421 億 7100 万円）から 7080 億 6700 万円（同 24.9%増）と増加基調で推移している。

業態別の増減の内訳をみると、大手銀行（増加 5 行、減少 2 行）、地方銀行（増加 55 行、減少 5 行）、第二地方銀行（増加 26 行、減少 11 行）となり、104 行中 86 行（構成比 82.7%）で増加した。

		2022年9月 中間期	2023年9月 中間期	2022年9月末比 増減額・増減比(%)	
主要104行	貸出金利息－預金利息	3,046,200	3,550,238	504,038	16.5
	大手銀行 (7行)	1,657,207	2,048,356	391,149	23.6
	地方銀行 (60行)	1,106,197	1,210,581	104,384	9.4
	第二地方 銀行 (37行)	282,796	291,301	8,505	3.0

※地方銀行の預金利息・貸出金利息は青森銀行、みちのく銀行の2行が非開示のため60行分で計算

単位：百万円

#### 利ざや増減内訳

	増 加		減 少		合 計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	5	71.4%	2	28.6%	7	100.0%
地方銀行	55	91.7%	5	8.3%	60	100.0%
第二地方銀行	26	70.3%	11	29.7%	37	100.0%
合 計	86	82.7%	18	17.3%	104	100.0%

※地方銀行の預金利息、貸出金利息は60行分で計算

#### 4. 地域別動向 ～預金・貸出金の増加率トップは「中国」～

地方銀行、第二地方銀行の計 99 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、2022 年 9 月末と比べ、**預金**は 9 地域すべてで増加した。**貸出金**は「北海道」を除く 8 地域で増加した。預金の増加率上位は「中国」（3.4%増）、「九州」（2.3%増）、「関東」（2.2%増）、「北陸」（1.9%増）と続いた。貸出金の増加率上位は「中国」（4.9%増）、「九州」（4.5%増）、「関東」（4.3%増）、「四国」（3.9%増）が続いた。

**預金利息**は 2022 年 9 月末と比べ、全 9 地域で増加した。**貸出金利息**は、「北海道」を除く 8 地域で増加した。預金利息の増加率上位は「関東」（186.6%増）、「中部」（171.2%増）、「四国」（138.2%増）。貸出金利息の増加率上位は「中国」（28.8%増）、「四国」（24.3%増）、「関東」（12.9%増）。

収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）＝**本業利ざや**＞は、「北海道」を除く 8 地域で増加した。本業利ざやの増加率上位は、「中国」（25.1%増）、「四国」（18.8%増）の 2 地域で 2 ケタ増となり、次いで「関東」（8.0%増）が続いた。

		2022年9月末	2023年9月末	2022年9月末比 増減額・増減比(%)	
北海道 (2行)	預金	16,071,269	16,253,681	182,412	1.1
	預金利息	135	138	3	2.2
	貸出金	12,179,730	11,875,087	▲ 304,643	▲ 2.5
	貸出金利息	49,488	49,477	▲ 11	▲ 0.02
	貸出金利息－預金利息	49,353	49,339	▲ 14	▲ 0.03
東北※ (15行)	預金	37,097,608	37,569,612	472,004	1.3
	預金利息	1,573	2,295	722	45.9
	貸出金	25,107,219	25,893,718	786,499	3.1
	貸出金利息	97,563	102,435	4,872	5.0
	貸出金利息－預金利息	95,990	100,140	4,150	4.3
関東 (15行)	預金	86,567,932	88,458,445	1,890,513	2.2
	預金利息	9,058	25,960	16,902	186.6
	貸出金	67,443,460	70,373,891	2,930,431	4.3
	貸出金利息	330,400	373,116	42,716	12.9
	貸出金利息－預金利息	321,342	347,156	25,814	8.0
北陸 (8行)	預金	28,918,810	29,482,095	563,285	1.9
	預金利息	1,005	1,667	662	65.9
	貸出金	19,039,254	19,528,903	489,649	2.6
	貸出金利息	83,354	87,452	4,098	4.9
	貸出金利息－預金利息	82,349	85,785	3,436	4.2
中部 (15行)	預金	66,525,154	67,384,184	859,030	1.3
	預金利息	9,147	24,805	15,658	171.2
	貸出金	51,158,621	53,016,109	1,857,488	3.6
	貸出金利息	251,090	280,393	29,303	11.7
	貸出金利息－預金利息	241,943	255,588	13,645	5.6

※東北の預金利息、貸出金利息は青森銀行、みちのく銀行が非開示のため13行分で計算

		2022年9月末	2023年9月末	2022年9月末比 増減額・増減比(%)	
近畿 (7行)	預金	36,473,370	37,143,753	670,383	1.8
	預金利息	3,367	7,864	4,497	133.6
	貸出金	29,062,959	30,028,277	965,318	3.3
	貸出金利息	130,012	135,764	5,752	4.4
	貸出金利息－預金利息	126,645	127,900	1,255	1.0
中国 (9行)	預金	34,631,567	35,803,793	1,172,226	3.4
	預金利息	4,823	10,879	6,056	125.6
	貸出金	27,461,930	28,809,023	1,347,093	4.9
	貸出金利息	134,022	172,555	38,533	28.8
	貸出金利息－預金利息	129,199	161,676	32,477	25.1
四国 (8行)	預金	24,186,556	24,597,716	411,160	1.7
	預金利息	4,733	11,273	6,540	138.2
	貸出金	18,643,458	19,378,727	735,269	3.9
	貸出金利息	104,425	129,750	25,325	24.3
	貸出金利息－預金利息	99,692	118,477	18,785	18.8
九州 (20行)	預金	59,550,455	60,945,056	1,394,601	2.3
	預金利息	3,369	6,187	2,818	83.6
	貸出金	48,811,449	50,996,973	2,185,524	4.5
	貸出金利息	245,849	262,008	16,159	6.6
	貸出金利息－預金利息	242,480	255,821	13,341	5.5
99行 合計	預金	390,022,721	397,638,335	7,615,614	2.0
	預金利息	37,210	91,068	53,858	144.7
	貸出金	298,908,080	309,900,708	10,992,628	3.7
	貸出金利息	1,426,203	1,592,950	166,747	11.7
	貸出金利息－預金利息	1,388,993	1,501,882	112,889	8.1

単位：百万円

## 5. まとめ

2023 年 9 月末の主要銀行の預金・貸出金動向は、総じて前年同期から増加傾向で推移した。業態別にみると、大手銀行で預金の増加幅が大きく、地方銀行で貸出金の増加幅が大きい傾向がみられた。

預金の増加背景には、大手銀行を中心とした外貨預金の増加が要因の一つとしてあげられる。また、地方の金融機関、特に金融機関同士の競合が激しい地域では、預金を獲得するため預金金利の上昇を進めている地域もあり、預金利息は全体的に前年同期から大きく増加した。

貸出金の増加背景には、大手銀行では投資、M&A や事業承継などのファイナンスが増えたことに加え、全体的には、物価高対応に伴う資金対応やアフターコロナの過程で企業の設備投資にかかる資金需要が旺盛となったことで増加した。

銀行業界は、これまでの預貸中心のビジネスモデルから新たなビジネスモデルの構築など収益源の多角化を急いでいるが、富山県高岡市に本店を置く地銀、富山銀行の 2023 年 9 月中間決算（連結）では、中間純損益が 2 億 1800 万円の赤字となった（前年同期は 7 億 8700 万円の黒字）ことを発表した。赤字となったのはリーマン・ショック時の 2008 年以来 15 年ぶりで、上場地銀のうち唯一の赤字転落となり、背景には融資先の倒産で当初の見込みから与信費用が大きく増えたことが影響した。

全体の倒産件数が増加傾向を続けるなか、金融庁が発表している「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」等の一部改正案の概要にもあるように、今後銀行をはじめとする金融機関は、コロナ禍の“資金繰り支援フェーズ”から事業者の実情に応じた“経営改善・事業再生支援フェーズ”への転換が求められることになる。

加えて、日銀は 12 月 19 日の金融政策決定会合の場で、大規模な金融緩和策の現状維持を決めた。マイナス金利の出口戦略については、金融機関関係者を中心に依然関心度は高い。転換期を迎える 2024 年 3 月期の銀行業界の通期の動向に引き続き注目が集まる。

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 佐古 真昼 03-5919-9341 (直通)

情報統括部：tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。